

新株式発行並びに株式売出届出目論見書の訂正事項分

(平成17年10月 第1回訂正分)

アウンコンサルティング株式会社

ブックビルディング方式による募集の条件及びブックビルディング方式による売出しの条件等の決定に伴い証券取引法第7条により有価証券届出書の訂正届出書を平成17年10月21日に関東財務局長に提出しておりますが、その届出の効力は生じておりません。

- 新株式発行並びに株式売出届出目論見書の訂正理由
平成17年10月7日付をもって提出した有価証券届出書の記載事項のうち、ブックビルディング方式による募集2,000株の募集の条件及びブックビルディング方式による売出し1,000株の売出しの条件並びにこの募集及び売出しに関し必要な事項を、平成17年10月20日開催の取締役会において決議したため、これらに関連する事項及び記載内容の一部を訂正するため有価証券届出書の訂正届出書を提出しましたので、新株式発行並びに株式売出届出目論見書を訂正いたします。
- 訂正箇所及び文書のみを記載してあります。なお、訂正部分には____ 罫を付し、ゴシック体で表記しております。

第一部 【証券情報】

第1 【募集要項】

1 【新規発行株式】

(欄外注記の訂正)

(注) 平成17年10月7日開催の取締役会決議によっております。

(注) 1の番号及び2の全文削除

2 【募集の方法】

平成17年10月28日に決定される予定の引受価額にて、当社と元引受契約を締結する予定の後記「4 株式の引受け」欄記載の証券会社(以下「第1 募集要項」において「引受人」という。)は、買取引受けを行い、当該引受価額と異なる価額(発行価格)で募集(以下「本募集」という。)を行います。引受価額は平成17年10月20日開催の取締役会において決定された発行価額(297,500円)以上の価額となります。引受人は払込期日に引受価額の総額を当社に払込み、本募集における発行価格の総額との差額は引受人の手取金といたします。当社は、引受人に対して引受手数料を支払いません。(略)

〈欄内の数値の訂正〉

「ブックビルディング方式」の「発行価額の総額(円)」の欄：「510,000,000」を「595,000,000」に訂正。

「ブックビルディング方式」の「資本組入額の総額(円)」の欄：「255,000,000」を「297,500,000」に訂正。

「計(総発行株式)」の「発行価額の総額(円)」の欄：「510,000,000」を「595,000,000」に訂正。

「計(総発行株式)」の「資本組入額の総額(円)」の欄：「255,000,000」を「297,500,000」に訂正。

〈欄外注記の訂正〉

(注) 3 発行価額の総額は、商法上の発行価額の総額であります。

4 資本組入額の総額は、平成17年10月20日開催の取締役会決議により決定した資本に組入れる額に基づき算出した金額であります。

5 仮条件(350,000円～400,000円)の平均価格(375,000円)で算出した場合、本募集における発行価格の総額(見込額)は750,000,000円となります。

3 【募集の条件】

(2) 【ブックビルディング方式】

〈欄内の数値の訂正〉

「発行価額(円)」の欄：「未定(注)2」を「297,500」に訂正。

「資本組入額(円)」の欄：「未定(注)2」を「148,750」に訂正。

〈欄外注記の訂正〉

(注) 1 発行価格はブックビルディング方式によって決定いたします。

仮条件は、350,000円以上400,000円以下の範囲とし、発行価格は、当該仮条件による需要状況、上場日までの価格変動リスク等を総合的に勘案した上で、平成17年10月28日に引受価額と同時に決定する予定であります。

需要の申込みの受けに当たり、引受人は、当社株式が市場において適正な評価を受けることを目的に、機関投資家等を中心に需要の申告を促す予定であります。

仮条件は、事業内容、経営成績及び財政状態、事業内容等の類似性が高い公開会社との比較、価格算定能力が高いと推定される機関投資家等の意見ならびに需要見通し、現在の株式市場の状況、最近の新規公開株の株式市場における評価ならびに上場日までの期間における価格変動リスク等を総合的に検討して決定いたしました。

2 「2 募集の方法」の冒頭に記載のとおり、発行価格と平成17年10月21日に公告した商法上の発行価額(297,500円)及び平成17年10月28日に決定する予定の引受価額とは各々異なります。発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。

7 引受価額が発行価額(297,500円)を下回る場合は新株式の発行を中止いたします。

4 【株式の引受け】

〈欄内の数値の訂正〉

「引受株式数(株)」の欄の各引受人の引受株式数：「未定」を「三菱UFJ証券株式会社1,250、みずほ証券株式会社300、岡三証券株式会社150、新光証券株式会社150、マネックス・ビーンズ証券株式会社150」に訂正。

〈欄外注記の訂正〉

- (注) 1 上記引受人と発行価格決定日(平成17年10月28日)に元引受契約を締結する予定であります。
2 引受人は、上記引受株式数のうち、10株を上限として、全国の販売を希望する引受人以外の証券会社に販売を委託する方針であります。

(注) 1の全文削除

5 【新規発行による手取金の使途】

(1) 【新規発行による手取金の額】

〈欄内の数値の訂正〉

「払込金額の総額(円)」の欄：「700,000,000」を「750,000,000」に訂正。

「差引手取概算額(円)」の欄：「644,000,000」を「694,000,000」に訂正。

〈欄外注記の訂正〉

- (注) 1 払込金額の総額は、引受価額の総額であり、仮条件(350,000円～400,000円)の平均価格(375,000円)を基礎として算出した見込額であります。

(2) 【手取金の使途】

上記の手取概算額694,000千円については、SEM事業の拡大のための優秀な人材の確保と教育研修にかかる費用、会計システム及び販売管理システムの導入費用、運転資金に充当する予定であります。

第2 【売出要項】

1 【売出株式】

〈欄内の数値の訂正〉

「ブックビルディング方式」の「売出価額の総額(円)」の欄：「350,000,000」を「375,000,000」に訂正。

「計(総売出株式)」の「売出価額の総額(円)」の欄：「350,000,000」を「375,000,000」に訂正。

〈欄外注記の訂正〉

- (注) 3 売出価額の総額は、仮条件(350,000円～400,000円)の平均価格(375,000円)で算出した見込額であります。

第二部 【企業情報】

第5 【経理の状況】

2 【財務諸表等】

(1) 【財務諸表】

注記事項

【関連当事者との取引】

前事業年度(自 平成15年6月1日 至 平成16年5月31日)

2 役員及び個人主要株主等

〈欄内の記載の訂正〉

「續池 巖」の「事業の内容又は職業」の欄：「当社監査役の父」を「当社取締役の父」に訂正。